

もっと知って欲しい、

R5.2

里親制度のこと vol.11



養育里親は、子どもが元の家に戻るまでの間

一時的に子育てをする役割も担っています

今回は、お家に戻る予定の女の子を育てている養育里親さんにお話を伺いました。

Aちゃんは4歳の女の子です。1年前からB里親さんと一緒に暮らしています。

お母さんが引き取る準備が整うまでの数年間、AちゃんはB里親さんのお家で暮らします。

Aちゃんは、里母さんをママ、と呼んでいます。自然に里親さんの実子であるお兄ちゃんと同じように「ママ」と呼ぶようになりました。Aちゃんは、「来たばかりの時は、恥ずかしくてママって言えなかったんだ。」と言います。でも、産んでくれたお母さんのこともちゃんと分かっていて、時々、児童相談所で会っています。面会の日にはドキドキしているAちゃんを里親さんが送ってきてくれて、面会が終わるとまた里親さんと一緒に帰ります。

里母さんは、「手をつないで歩いている時に「ママ大好き」と言ってくれたり、ふとした時にかわいいな、と思う。いつか、帰っていくのは淋しいけれど、それがAちゃんにとって良いことだと思うので…」と笑顔で話してくれました。

Aちゃんは、いつも「ママ、見て見て」と言っています。自分を見て欲しい気持ちがいっぱいだから、お母さんがAちゃんを引き取ったら、たくさん愛情を注いで欲しいなと思っています。



B里親さん

✿ Aちゃんのお雛様 ✿



里親とは

何らかの事情があって、保護者と一緒に生活することが難しい状況になってしまった子どもを家庭に迎え入れ、愛情を持って養育する方。期間は数日から年単位とまちまちです。養子縁組が必要な子どもと養子縁組をする場合もありますが、子どもが出身の家庭に戻る場合もあります。

相模原市では、まだまだ里親が足りません。

子育て経験のある方も、ない方も、お待ちしております。



お問い合わせ

相模原市児童相談所 042-730-3500

詳細は相模原市 HP をご覧ください

相模原市 里親制度

検索